

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	食道扁平上皮癌を対象に実施した包括的ゲノムプロファイリングで認められた遺伝子異常の検討
	研究目的	食道扁平上皮癌は体細胞変異の頻度が高いことが報告されており、包括的ゲノムプロファイリング (CGP) により標的となりうる遺伝子異常が比較的高頻度で検出されることが期待される。しかしながら、食道扁平上皮癌に関する CGP の報告は少なく、CGP で検出される治療標的となりうる遺伝子異常の実態は明らかにされていない。本研究においては、食道扁平上皮癌における各種の遺伝子異常の頻度、治療成績との関連、予後などを、後ろ向きに解析する。
	研究対象者	2020 年 1 月から 2022 年 12 月に、当院消化器内科・消化器外科・がんゲノム診療科にて、包括的ゲノムプロファイリング検査を受けた食道扁平上皮癌患者
	研究期間	西暦 2023 年 5 月 22 日～西暦 2024 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター研究責任者	消化器内科・消化管 古澤 享子
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科・消化管、胃食道外科、がんゲノム診療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 消化器内科 (消化管) 古澤享子 k-furusawa@kcch.jp